

◆エゾエンゴサクの球根

4月から5月にかけて、低地や山地の林下に群生し、青いランのような花が、空に向かって重なり合っ
て咲くエゾエンゴサク。(白やピンク、紫もある。)

ビオトープ・イタンキにもお花畑が欲しいとの思いから、6月初めに会員3人で、豊浦の山へ球根を
掘りに行ってきました。100年かけて里山づくりに取り組んでいる伊藤さんが、声を掛けて下さったのに
甘えてでかけたものです。

一度行ったことのある会員の記憶を頼りに、林
の下で、球根探し!土を掘ると、なんと、3から
5mmの小さな丸いイモがザクザク!!とても暑い
日で、ヤブ蚊と戦いながらの作業でしたが、楽
しかった。

その後、6月の活動日に西側の斜面に会員10
人で植えました。2年後、3年後の春が楽しみ
です。(金谷広子)



エゾエンゴサク

◆自然観察会 (穂別恐竜博物館、つつじ山公園、鷗川河口干潟散策)

穂別と聞いただけで何やら古代の匂いがし、ロ
マンを感じワクワクします。この山奥に海の化石が
ある、恐竜がいた証拠がある。博物館はそんな
想像を超える地球の秘密などに少し近づいた思い
がし見応えがありました。

昼食後の散策でO夫人に教えてもらったサワフタ
ギの木に花が咲いていて、初めて確認することが
できこれも収穫です。

鷗川河口ではタチオランダゲンゲが綺麗に咲い
ていて携帯電話の待ち受けにしました。道の駅のシシャモが美味しそうで、居酒屋でオヤジして過ごし
てみたい…。日常を離れて楽しい1日でした。(三浦明子)



◆キウシト湿原 ホタル観察会参加

8月2日、キウシト湿原のホタル観察会最終日、ビオトープ・イタンキも3名で参加いたしました。

湿原に架かる、車いすの利用できる幅広い木道を、集いた人々と共に歩み、ホタル池に着く。青
白い光を放ちながら、ホタルが数多く夜空に舞っており、少年は網とホタルをとらえ手渡して下さる。
ホタルの光は、てのひらに自在に動きはじめ、指先の端を廻り崖っ縁より戻りくる。目の当りに見し掌
の蛍を、草叢の細き葉に置き、観察を終える。(高谷玉江)